

## 国際委員会

委員長：水野 博司

担当理事：四ッ柳高敏

委員：秋田 新介、浅野 裕子、磯貝 典孝、市川 佑一、今井 啓介  
清川 兼輔、河野 太郎、関 征央、素輪 善弘、高柳 進  
田中 里佳、出口 綾香、橋川 和信、林 明辰、矢野 智之  
山本 匠

APRAS-WG 担当：吉村浩太郎

開催年月日：①2021年8月3日、②2021年9月14日、③2021年12月20日（全てオンライン開催）

### 主な議題：

1. 日形会総会および基礎学術集会における International Session 開催の件
2. 海外からのフェローシップ支援の件
3. 「名誉会員」「特別会員」の英語表記の件
4. 海外在住名誉会員、外国会員に関する件
5. 国際広報活動の件
6. APRAS 創設の件
7. ASPS との MOU 活動の件
8. 日韓形成外科学会開催の件
9. アジア諸国との MOU 締結に関する件

### 活動の概要：

- 1) 2022 年日形会総会・学術集会では完全オンラインで International Session を実施することとなった。2022 年基礎学術集会についても木股会長と相談しながら開催方法について議論する。また今後の International Session の在り方や開催規模についても議論を行った。
- 2) 海外からのフェローシップ受け入れ協力施設の募集を、全国医育機関を中心に募り、昨年までの 7 施設に加えて新たに 4 施設が追加され、合計 11 施設となった。
- 3) 「名誉会員」「特別会員」の英語表記について外部識者にも相談した結果、名誉会員は Emeritus Member、特別会員は Honorary Member と標記することで理事会承認を得た。
- 4) 海外在住名誉会員、外国会員の記載名が現実を反映していないため、まずは「外国会員、海外在住名誉会員の推薦について（内規）」の見直しとそれに沿った整理を進める方向となった。
- 5) 国際的な広報活動として英語 HP 以外に各種 SNS を通じた日形会の発信をするための小委員会を立ち上げた。
- 6) アジア主要諸国の形成外科学会との相互連携・協力を目的とした APRAS (Asian Federation of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Societies) の創設に向け、1、2 ヶ月毎定期的に会合を続けており、各国のコンセンサスを得ながら ByLaws の作成に向けて調整している。
- 7) ASPS 事務局と毎月会議を実施し、ASPS の HP に搭載されている共同のポータルサイトの充実化について議論を行った。10 月 29 日開催の年次総会において MOU 枠で合計 13 題（1 題口演、12 題 e-poster）の推薦を行った。また MOU 各国が参加する GlobalLeadership Forum において英文機関紙 JPRS の紹介と投稿の呼びかけを行った。
- 8) 2020 年開催予定だった日韓形成外科学会がコロナの影響で延期されているが、日韓合

意のもと、現状では2022年12月12-14日で開催を予定している。

- 9) 現在日形会がMOUを締結している諸国（アメリカ、韓国、台湾、パキスタン）に加え、インドネシア、タイ、フィリピン、中国等の国々とMOU締結について協議継続している。